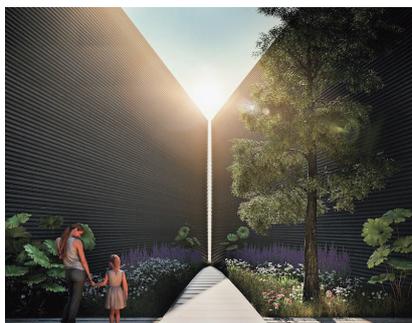
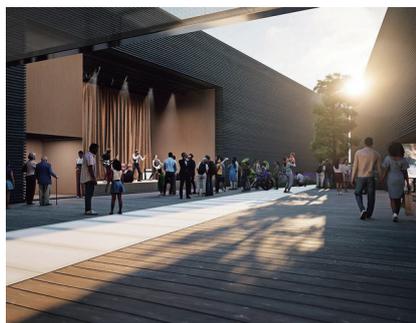
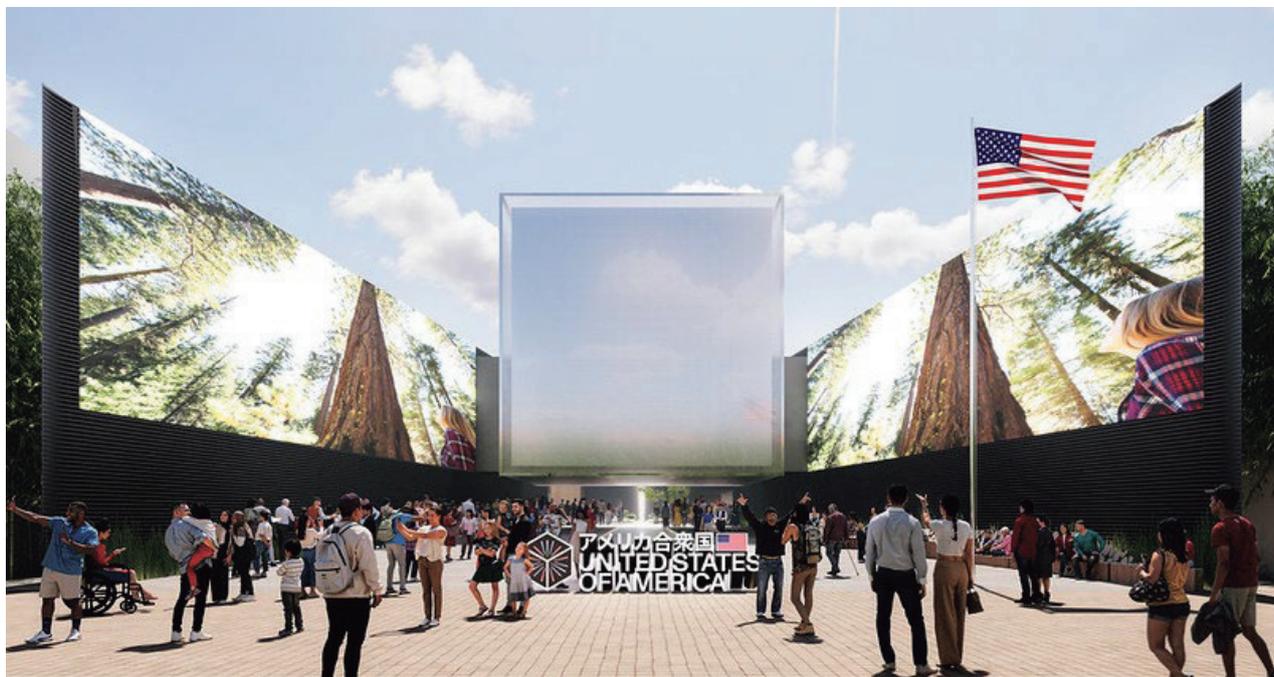


2025年日本国際博覧会 パビリオン・施設の紹介 (No.20)

アメリカパビリオン

【設計】Trahan Architects + 株式会社トライポッドスタジオ



© USA Pavilion

【パビリオンの概要】

米国パビリオンは米国の革新性と独創性を視覚的に表現する、木製ルーバーの外観が特徴的な三角形の建物2棟の中央に、キューブが浮かぶように配置され、その奥にはステージも設けられています。パビリオンでは、テクノロジー、宇宙開発、教育、文化、起業家精神における米国のリーダーシップを紹介し、5つの没入型展示エリアが、新たな視点からの可能性について来場者に問いかけるように迎えます。

【設計コンセプト】

パビリオンの主体構造は大半がモジュラー・ストラクチャーメーカーのリユース材を使用し、博覧会閉会後には解体され再利用できるよう保管されます。屋根・外壁材は新規材を使用しますが、これらも閉会後には回収され、再利用が可能な状態でメーカーに保管されます。

同様に内装材や設備機器等も可能な限り再利用可能なものやレンタル品を使用することで、可能な限り会期後の廃棄物を削減することを目指しています。

当施設の確認検査及び建築技術安全審査は、(一財)日本建築総合試験所が実施しました。